

桂 沢

上

一九八五年九月二二日

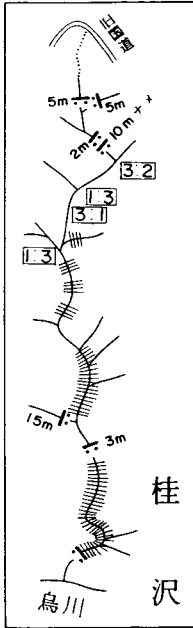
旧国道より沢へ。入口部分がひど

いやだった。すぐに歩きやすくなり、沢に出た。すぐに、F3五

滝となって沢が合流していた。

このあとカーブをえがいてナメ状に落ちる。○は滝があるが、それに落ちると沢は平凡となり、いくつもの支沢が合わさるようになる。

沢の左手に炭焼き釜跡を見て進むと、ナメが断続的に出てくる。スケールは大きくないが、



なかなか感じのよいナメである。

このあたりで空模様があやしくな

クモ 沢

上

一九八一年八月二九日

林道を枯松沢出合まで歩いてから沢に入る。烏川本流を西・安藤パー

ティと一緒に歩いてクモ沢出合へ。一二時四五分、出合着。

クモ沢に入ると、すぐ二つの小滝がかり、先が楽しみになってくる。続いてF3、F4と小さいが滝が次々と現れる。

沢が逆S字に曲がったところにもF5四。ここまで来ると水量もだ

ってきたので、ぐんぐんスピードを上げて下る。小滝を過ぎると、烏川本流は目の前であった。
(記・
「タイム」 下降開始(一二:四〇) ↓
烏川本流(二三:三〇)